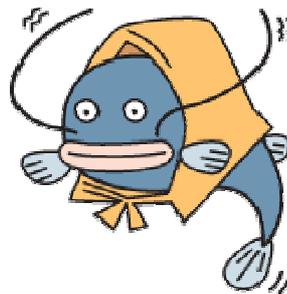


# 緊急地震速報 なますきん



マンスリー レポート  
2009年 8月号

発行元 株式会社 ハレックス

## 東海地震発生想定域内で マグニチュード 6.5 の地震発生！！

この8月11日05時07分に駿河湾を震源とするM6.5(暫定値)の地震が発生しました。この地震は東海地震の想定震源域内で発生したために社会的に大きな関心をもたれることになりました。

気象庁は、地震発生約2時間後の7時15分には「東海地震観測情報第1号」を発表し、“想定される東海地震との関連性を調査しています”との発表を行いました。続く「東海地震観測情報第2号」では、“地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を開催し、想定される東海地震との関連性の調査を継続中”との発表(9時10分)を行い、そして11時20分の「東海地震観測情報第3号」においては、“本日(11日)05時07分頃発生した駿河湾を震源とする地震について、地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を開催し検討した結果、今回の地震は想定される東海地震に結びつくものではないと判断しました”との判断結果を発表しました。主な判断の根拠として、次の2点

この地震は、震源の深さ、発震機構解及び余震分布から見て、沈み込むフィリピン海プレート内で発生したものと思われま

す。地震に伴い、地殻変動の観測データにステップ状の大きな変化が観測され、その後もゆっくりとした変化が続いていました。このゆっくりとした変化を調査した結果、想定される東海地震の前兆すべりによる変化ではないことがわかりました。また、変化も次第に緩やかになり、現在は、通常観測される変化レベルにおさまっています。

を示し、

これらのことから、今回の地震及びそれに伴う地殻変動は、想定される東海地震に結びつくものではないと判断しました。

と結論しております。

## 歴代第2位を記録

～震度5弱以上を観測する地震が発生していない期間～

さて、つい先月、“国内で震度5弱以上を観測する地震が発生していない期間が27日(8月27日)、計319日に達し、震度5、6を「強」「弱」に分類した現在の震度階級が導入された96年10月以降では歴代2位の長さになった。気象庁地震予知情報課は「07～08年に比べ、大分静かな状態」と説明・・・“という報道がなされました<毎日新聞；2009/7/28>。今回の駿河湾の地震は、静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市で震度6弱を観測したことから、国内で震度5弱以上を観測する地震が発生していない期間歴代第2位の長さを確定する地震となりました。ちなみに8月10日までの震度5弱以上無しの期間は333日となります。

<本文の一部は、平成21年8月11日の気象庁報道発表資料から抜粋・作成しました>

# ～ ～ ～ なまずきんの働き（2009年7月） ～ ～ ～

## 【発信数概要】

7月に緊急地震速報（予報）が発信された34個の地震における発信の総数は183通でした。先行運用が始まってから今月までの3年間の月平均データと比較しますと、地震数は約66%、発信数は約61%で、月平均をかなり下回る状況でした。

また、緊急地震速報で予測震度4以上と報じた地震はありませんでした。なお、平成18年8月以降予測震度4以上と報じた地震の月平均発生数は約6.1個です。

Table.1 震度4以上を発信または観測した地震(2009年7月)

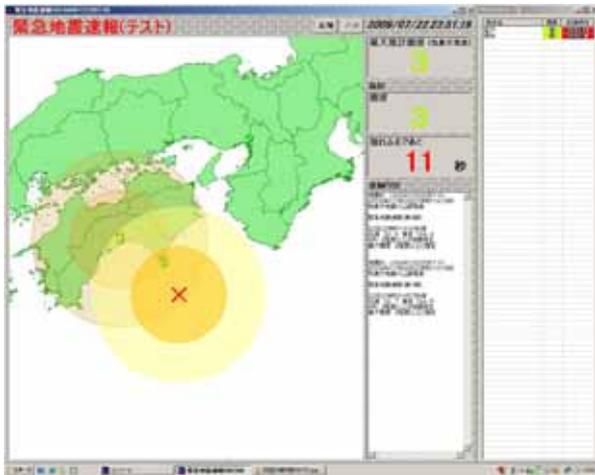
日	時分	地域名	深さ (km)	マグニチュード	速報 発信数	速報最大震度 (最終報震度)	観測最大震度 (地点数)
22	23:51	四国沖	29	M4.6	10	3(3)	4(1)
28	20:53	北海道南西沖	8	M4.0	2	3(3)	4(1)

## 【四国沖の地震】

2009年7月22日23時51分に、四国沖の深さ29kmでM4.6の地震（最大震度4）が発生し、地震発生から約8秒後の23時51分18秒に高度利用者向け緊急地震速報の第1報が発信されました。左下の図は、高知市に着目したときの第4報受信直後（地震発生後約10秒後）の“なまずきん”の再現表示です。この地震の最大予測震度は3、高知市における予測震度も3、大きな揺れ（S波）の到達は約11秒後であると予測されています。観測された最大震度は、室戸市室津で震度4、高知市の最大震度は2でした。

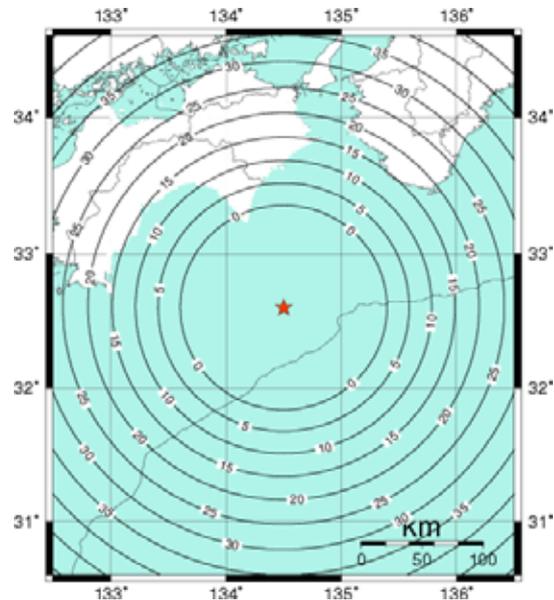
また、ほぼ同じ場所で、23日00時47分にM4.1（最大震度3）、24日16時39分にM2.8（最大震度1）の地震が発生し、前者では最大予測震度を2とする緊急地震速報が発信されました。

今回の地震は、想定される南海地震の震源域内で発生しました。1923年8月以降の地震活動を見ると、1946年の昭和南海地震の直後から1954年にかけてM6.0前後の地震が6回発生していますが、その後M5.0以上の地震は発生していません。



図は高知市に着目したときの緊急地震速報第4報を受信・処理した直後の“なまずきん”による再現画面です。

×印が震央で、外側の円（薄い黄色）がP波、内側の円（橙色）がS波の拡がりを現わしており、S波が高知市に到達するまで11秒、予測される震度は3であることを示しています。



円の中心の星印は、震央を示します。図のコンターは、緊急地震速報第1報の提供から、主要動到達までの時間（単位は秒）を示しています。室戸岬付近では、緊急地震速報は間に合いませんが、高知市付近では、緊急地震速報第1報の提供から約11秒後に主要動が到達すると予測されます。（図は気象庁HPより）

Table.2 緊急地震速報で最大震度が3と予測された地震(2009年7月)

日 時分	地域名	深さ (km)	マグニ チュード	日 時分	地域名	深さ (km)	マグニ チュード
7 07:35	沖縄本島近海	72	M5.9	22 03:56	茨城県北部	89	M4.2
13 04:28	釧路沖	47	M4.4	24 18:43	奄美大島近海	14	M4.2
16 05:19	神奈川県西部	16	M4.2	27 09:44	愛知県西部	41	M4.0
18 05:16	伊予灘	70	M4.3	28 04:16	国後島付近	147	M4.7
19 10:47	福島県沖	42	M4.5				